

産業祭の反省と 今後について

木村 祐一 議員



木村 本市の農産物であるスイカをシンボルとして、農業の振興と市農産物に対する消費者意識の高揚並びに融和を推進することを目的に行なわれた。その評価は。

産業振興部長



スイカ祭り

例が9月に制定された。その後どのような取り組みになっているのか。
産業振興部長 18名による合志中小企業等活性化会議を立ち上げ3回の会議を開いた。現在、産業実態調査を実施しており、今後結果を分析し具体的な振興施策を検討し24年度予算に反映できればと思っている。

木村 公共交通の充実により交通不便地域の解消、交通弱者の支援には功を奏していると思う。が、タクシー業者等には客離れによる経営悪化が生じており、この条例からの整合性からみて「官が民を圧迫している」と感じる。コミュニティバス事業とタクシー事業が両立できる状況が本来の姿であり、この条例の推進に繋がると感じるが。

木村 本市には様々な農産物、加工品等が生産されている。今後も産業祭を行なっていくのか。恒例化されるのか。

産業振興部長

実行委員会が本年度は合併5周年ということで産業祭と夏祭りを行なうことになった。両方の祭りを総括した上で決めたい。

中小企業等振興基本条例の推進

木村 合志市中小企業等振興基本条

市職員の人材育成と 積極的な活躍に期待する

上田 欣也 議員



上田 市職員の人材育成とやる気を引き出すための研修について伺う。
総務企画部長 平成18年の行政改革大綱、集中改革プランに基づいて、19年職員人事評価制度等検討委員会を設置、22年4月、合志市職員人材育成基本方針を策定した。



人材育成基本方針

上田 その基本方針はどの程度実現されているか訊ねる。

総務部長 職員の積極的な取り組みを引き出すために、ボランティア活動、市の広告動画の作成、また夏祭りについてもバーチャル市役所という形で、全体的な職員の協力を得て実施しているところだ。

上田 人事評価制度の導入について
総務部長 これまで試行期間だった
が来年度導入で準備中だ。

上田 次に道路交通ネットワークについて伺う。宅地開発が市内のあちこちで続いているが、現在の渋滞状況はきちんと把握しているか。
都市建設部長 渋滞は国道県道の交差点であり、独自に把握している。

上田 渋滞を避けるために生活道路に入り込む車が増え危険である。大雨のときに冠水する道路も多い。開発の前に考えるべき問題ではないか。また公共交通の近隣市町とのネットワークはどのようになっているか。

政策部長 熊本都市圏協議会の23年度事業で検討する。

上田 各種委員会、審議会等で何が話し合われているのか市民からわかりにくい。

市長 市民にとって本場に必要ないマを協議する委員会等こそ求められている。前向きに検討する。

上田 現在どういう話が進んでいるかの情報公開がないと市民も活発な意見の出し方がない。改善を求める。同様に市長交際費の公開までに1年以上もかかった。スピード感を具体的な形にしてほしい。

選挙公約

実現のために

今村 直登 議員



東日本大震災とガス基地の安全性について

今村 東日本で発生した大震災で福島第一原発が爆発し大変な事態だ。安全神話をバラまいて、原発を推進してきたので、万が一の対策がとられていなかった。合志市にはガス基地がある。近くの堀川には震度6以上の活断層が走っている。西部ガスからは、こういう事態に備えて、報告等はあるのか。

総務部長

西部ガスとは、事故時の処置等の運用に関する申し合わせを締結している。覚書に従い4半期毎に報告をいただいている。

子どもの遊び場について

今村 子どもの遊び場について、何回も質問しているが進展はあっていない。

都市建設部長 群区のグラウンドを子どもに限定してソフトボール等ができるよう許可をいただいています。
市長 まちづくり戦略室で子どもの遊び場について検討しています。

街灯について

今村 通学路の街灯があちこちで切れている。言っても対応が遅い。点検とかどうしているのか。

総務部長 特別に依頼して点検はしていない。職員が気付くとか、市民の方から通報してもらっている。

信号機やカーブミラー設置について

今村 泉ヶ丘体育館の近くと黒石原コンベニ（ポプラ）の信号が右折の矢印の信号がないために大変混雑する。竹迫の山隈酒店のところが信号機がなく危険だ。なんとかならないか。またカーブミラーの設置についてはどうなるのか。

総務部長 信号機は県の公安委員会に要望を出している。カーブミラーは地元の区長を通して申し込んでください。

ごみ収集について

今村 高齢家庭のゴミ収集について自宅前収集はできないか。

市民部長 社会福祉協議会が月一回200円で収集作業を行っている。そこを利用していたきたい。

防災対策の 見直しを！

坂本 早苗 議員



坂本 防災行政無線の整備を検討すべきではないか。

総務部長 24年度からデジタル化の整備を計画している。放送内容の検討も必要と考えている。

坂本 学級簿等のバックアップシステムは大丈夫か。

教育部長 学校ごとに耐火金庫で保管している。今後は教育委員会でもデータを保管する仕組みができないか検討したい。

坂本 遠距離の自治体と防災応援協定を結ぶのではどうか。

総務部長 県内では各市町と協定を結んでいるが、県外については十分検討したい。

坂本 西部ガス熊本工場の安全管理についてどう対応するのか。

総務部長 今までは点検の報告を受けるだけだったが、今後は工場に出向き説明を聞き検証を行っていく。

EMの活用を！

坂本 プール掃除に環境にやさしいEMを使う学校が増えている。菊池

児童デイサービスの充実を

坂本 合志市の子育て環境は充実してきているが、障がい児の児童デイサービスなどは不十分。今後の対策は。

健康福祉部長 社協が新しい保育園を整備予定で、独自事業計画として障がい児の在宅サービスにも寄与できればと考えている。



プール清掃

市ではNPO法人に依頼し、学校プールに全校EMが導入されている。合志市でも同様にできないか。
教育部長 合志市の小中学校でも使っている学校ではとても好評で、使用していない学校にもEMを奨励したい。菊池市の方式については調査・研究をしていきたい。